

## 四谷の

# 千枚田だより



第 68 号

花ごころも

ひと美しき

茶席かな

四谷 小山志ず子

## 横浜ゴム新入社員研修

四月七日、横浜ゴム新城工場新規採用社員三十八人の研修が千枚田で行われた。

この社員研修は既に三年目であり、恒例事業となった。

九時、千枚田入り口で保存会やお助け隊十一人、市鳳来総合支所地域整備課農政グループ四名が待ち受けるなか班長さん等を含めた総勢四十八名が到着。地元スタッフの簡単な紹介を行い、研修を開始した。

冒頭、本日は研修である。今から高低差二百以上の「ふれあい広場」まで自然豊かな千枚田を紹介しながら登る。全員規律ある行動をお願いしたい。と延べ、千枚田の概要、田んぼの生きもの、山崩れ・復元、断層(地殻変動)、十王堂伝説、太古は設楽海だったなど、ポイント毎で一息付きながら説明を行った。

「ふれあい広場」に到着、十分間の休憩の後、六班に編成、お助け隊の指揮のもと愛知県ふるさと指導員活動支援物資として供給された

厚鎌や唐鍬を使用、人海戦術で広場の草取り、草刈りが行われ、見る間に整備されていた。



昼食、なかなか届かない弁当にいらら、眼下に見える県道を登る車ばかり気にしている。幸いに、地元で食後のおやつとして用意した「鬼饅頭」(愛知県の名物)を提供。皆、命が繋がったと大喜びの一幕もあった。

そして、交流会。

まず、地元を代表して小山泰弘保存会長と市農政グループ平賀課長

の歓迎と景観整備に対する感謝の言葉が述べられた。

交流会は車

座になった各班に地元スタッフも加わり、松下誠事務局の軽快な司会で楽しく行われた。

各班の交流会の内容を集約すると、北海道から沖縄までで、地元で次いで九州が多いようであった。

・沖縄の新社員は「婆ちゃん男は一度、大和へ行け、行って成功して錦を飾れ」と言った。沖縄県民の多くが大和への就職を願望している。

・班長談、仕事は辛い、でも、お金になる。我慢することで幸せな家庭が築かれる。途中リタイヤは毎度、一年生だ。

・目標とライバルを作れ。

・スポーツは野球、サッカー、剣道など多彩であった。

・私は、此処よりよりもっと山奥の産まれた、ここへ嫁いでくるまで田んぼなんか知らなかったが、今では百姓仕事は何でも出来るようになった。何でも慣れれば出来るようになるし、苦にならない。住めば都で此処が良くみえる。

・この研修で三人は確実に花粉症の仲間入りをした模様。

二時二十分、交流会を終了。再びお助け隊・保存会を交え、散策道やボツトリ、四阿、水車周辺の草取りをしながら千枚田入り口に到着。

一同、班列体制で横浜ゴム藤沢課長から地元スタッフにお礼の言葉があった。最後は、お助け隊リーダー林義明の「締め」で前途ある新社員を温かく見送った。



地元スタッフ

「お助け隊」林義明、原田佳治、

松下誠 「保存会」小山泰弘、今

泉雅男、夏目広一、小山衛、丸地

光代、小山志お子、小山こはる、(舜)

## ピカピカの一年生

桜満開の四月六日、連谷小学校の入学式・始業式が行われました。

昨年は全校生徒九名とも男子児童でしたが、今年の新一年生は小山栞苗ちゃんと原田安奈ちゃんの二人で、誕生日は一日違いのとても思いやりのある可愛い女の子です。

《連谷小学校の児童数 十一名》



## お花見会と雛祭り

三月二十九日、連谷交流館では恒例となったお花見会と旧暦三月三日に因んで土雛祭りを行いました。この催しは真菰の丸地さん夫婦が発起人で地域のお年寄りを交え

た親睦を目的に賛同者の協力を得て毎年開催されております。

当日は会費制で、参加した皆さんに手作りのちらし寿司が振る舞われた後、和服姿もまぶしい「結構なお手前」に春侯の華の宴にしばしの泡沫を感じた。



## 「午さん交流会」を終えて

四月三日、東三河懇話会主催の「午さん交流会」にゲストとして小山舜二が招かれ『四谷の千枚田今を振り返って』と題して講演を行った。

壇上からみる方々は東三河を代表するトップの方々で、一瞬、その場から逃げ帰りたい衝動にかられた。が、同時に「四谷の千枚田」を皆さんに知ってもらおう絶好のチャンスと判断、熱く語った。講演終了後に多くの方々から名刺を頂戴、千枚田の継承、保全活動を励まされた。

## 棚田ビオトープ



先月二十二日、坂折棚田「なごみの家」において小山舜二は「田んぼの生き物」を題材に講演を行った。

この講演で、棚田ネットワーク会長の中島先生や高野事務局長、相田先生、坂折棚田保存会田口理事長、柘植市会議員、地元耕作者など大勢が棚田がもつ機能、生物多様性に大きな関心を持っていただいた。

## 《近況》

岐阜県恵那市「坂折棚田」は昨年末「文化的景観」指定を前提に市を挙げてNPO法人恵那市坂折棚田保存会と名称を改め、数々の調査活動を行っている。棚田耕作者は勿論、市民、行政等の文化的景観への取り組みに熱意を感じた。

その活動の一つとして恵那市教育委員会は毎月一回「文化的景観調査だより」（現在4号）を発行、市民及び関係機関に幅広い関心を高めている。

## 春の特別展

「ふるさとの棚田と湿原をまもる」

期間：四月二十九日～六月二十九日  
場所：鳳来寺山自然科学博物館

Tel 35-1001

入館料：大人二百十円 子供百円  
内容：作手高原の湿地群、四谷の千枚田に代表される棚田など、郷土に誇るべき自然や景観の現状と保全の取り組みを紹介します。

## 長篠合戦のぼりまつり

長篠城主奥平貞昌は武田勝頼の攻囲を受け、籠城し沢のタニシで飢えをしのぎ落城は免れた。奥平貞昌は助けてもらった感謝の意からタニシを神殿に奉るようになった。

長篠合戦のぼりまつり（五月五日）には毎年、四谷の千枚田のタニシが奉納されている。

## 田植え頃

・印しは田植え

千枚田はゴールデンウィークに代掻き、田植えが始まります。ふれあい広場から見下ろす「千枚の水鏡」は五月二十日前後となります。

- ・JA愛知東こども農学校 五月六日
- ・豊橋調理製菓専門学校 五月十四日
- ・三河の山里リズム 五月十六日
- ・連谷小学校 五月二十二日

行 平成二十一年四月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二